

まごのてグループ株式会社 統合開発室 第66回会議

日時：令和7年1月13日（祝）15時～16時

場所：亀岡・湯の花温泉 「溪山閣」会議室

住所：京都府亀岡市ひえ田野町佐伯下峠20番地6

参加者

まごのてグループ株式会社	植野（康）	代表取締役
セルフサポート株式会社	峯	代表取締役
	知野	幹部候補生
株式会社ジャストライフ	武村（聡）	代表取締役
	植野（泰）	取締役
グリーンライフ株式会社	中村（豪）	代表取締役
株式会社こみつ	井藤	代表取締役
株式会社アドナース	廣瀬	取締役
ライフプラス株式会社	林	代表取締役
	北川（裕）	取締役
株式会社びりーぶ	加藤	代表取締役
株式会社サクセスフルエイジング	木下	代表取締役
ほっと株式会社	石田	代表取締役
オアシス株式会社	尾呂（雄）	代表取締役
株式会社サンフラワー	大橋	代表取締役
株式会社歩	森實	代表取締役
株式会社ワンアップ	稲田（貴）	代表取締役
株式会社アイケア	西村（仁）	代表取締役
株式会社YELL	黒田	代表取締役
株式会社紫Yukari	北川（美）	代表取締役
株式会社Mic Corporation	住里	代表取締役
株式会社P. yes. P	玉井	代表取締役
Roots株式会社	松井	代表取締役
株式会社Dear fam	藤田（和）	代表取締役
株式会社Coccole	小澤（大）	代表取締役
株式会社ブルーム	和田	代表取締役
株式会社ルミエール	奥村	代表取締役
株式会社QUON	西村（親）	代表取締役
株式会社fellows	清水（直）	代表取締役
株式会社Circle	清水（大）	代表取締役
株式会社オレンジ	安藤	代表取締役
株式会社あいのはな	山住	代表取締役
株式会社HOITTO	渋谷（暢）	取締役
株式会社若泉L&L	若泉	代表取締役
株式会社GLANZ	森永（有）	代表取締役
	南	取締役

<オブザーバー>

株式会社メラキ

佐藤

代表取締役

一般社団法人福祉介護事業支援夕映舎

住田

代表理事

(敬称略)

1. 開会あいさつ

植野会長より開会のあいさつがあり、その後すぐに株式会社ジャストライフの武村代表取締役へ議長が引き継がれた。以後、武村議長の司会により議事が進行した。

2. 議題（報告事項）

①新規事業所等紹介

本年4月1日から開業予定の株式会社メラキの佐藤代表取締役からのご挨拶があった。一同盛大な拍手をもって、これを祝した。

②外国人材解禁について

植野会長より、現時点での訪問介護事業への外国人材解禁について、「まだ決まったものは無い。しかしながら、解禁されていく方向性については確実なので、ぜひまごのてグローバルの福井氏を通じてチャレンジしてほしい」との報告があった。

④統合開発室の会費について

植野会長より、前々回のグループ会議において、追加注文等で予算オーバーが13万円出た、前回は会費を上げたにもかかわらず、予算オーバーが3万円出た。そもそもグループ会議はオフィシャルな会合の場であり、そこで追加注文が頻発することからして会議の趣旨にそぐわない。よって、今後は追加注文の場合には、すべて注文者の自腹ということにしたい。との発議があった。一同、これを異議無く承諾した。

⑤グループ総会について

植野会長より、5月23日にアメリカ・ラスベガスにて開催されるまごのてグループ総会について、宿泊先ホテルを確保する関係性から、現時点で確実に参加される人数の確認をとりたい旨の提議があった。植野会長の求めに応じて、確実に参加するとして挙手した人数は8名であった。これにもとづき、当日の宿泊先をグループとして取ることになる。

3. 議題（提案・協議事項）

①2025年度給与改定について

植野会長より、昨年12月5日の「給与改定会議」および12月16日の「黒帯会議（拡大版）」において評決された、来年度からの給与改定についての決議を取りたい旨の発議があった。

給与改定の内容は、

内訳：職能手当 10,000円アップ

精勤手当 5,000円アップ

昨年暮れの臨時国会において決定した補正予算の中で、「シン・処遇改善支援補助金

(仮称)」が本年1月～6月に支給されることが確定した。
詳細を見極めてからの決定になるが、この「シン・処遇改善支援補助金(仮称)」によるアップ分を、業務手当に充てる。
というものであったが、補正予算の具体的な執行方法が現時点で明らかになっていないことと、財務上の理由から、給与アップ分にはこの「シン・処遇改善支援補助金(仮称)」によるアップ分を含めるかたちを希望される声も出たことを鑑み、継続審議となった。

②まごのて営業部隊創設について

植野会長より、昨年12月16日の「黒帯会議(拡大版)」において満場一致で評決された、まごのて営業部隊創設について、改めて発議があった。
しかし、その営業についての効果について賛否それぞれの声上がる等したため、別途話し合いの場を設けて、そこに賛成派・反対派それぞれの方々に集まっていただき、最終決定することとなった。
話し合いの場は、令和7年2月3日(月)13時より、まごのて西陣事業所内において設けられることが決定した。

4. 各事業所提案及び企画

①介事連について

サクセスフルエイジング木下代表取締役(介事連障害福祉部会京都支部長)より、2月18日に開催される「ケアDXフォーラム'25」の案内があった(添付資料参照)。

このフォーラムには介事連障害福祉部会の中川会長もご登壇される。内容としても、来年度から取り組みが必要となる「生産性向上要件」に関わるものになるので、大変有意義なものであるので、ぜひご参加をお願いしたい、とのことであった。

介事連のことで、植野会長からも発表があり、これまでの介事連(全国介護事業者連盟)に加えて、「全国介護事業者政治連盟」があるが、各都道府県に支部を設立する運びとなり、そのうちの京都府支部の支部長に植野会長、副会長に株式会社びりーぶ加藤代表取締役が就任されることが披露された。

一同、盛大な拍手でもってこの壮挙を祝した。

②介護サービス事業者経営情報データベースシステムにおけるGビズIDについて

夕映舎・住田より、今年1月7日から「介護サービス事業者経営情報データベースシステム」が稼働したこと、「介護事業者情報公表システム」の改定が行われたことについてのお知らせがなされた(添付資料参照)。

「介護サービス事業者経営情報データベースシステム」へのログイン・登録には、会社ごとに「GビズID」が必要になること、「介護事業者情報公表システム」には財務情報を入力しなければならなくなることが、あわせて周知された。

GビズID取得の手続きサポートを含め、夕映舎でも入力サポート等を別途料金にて請け負うことができる旨もお知らせがあった。

③グリーンライフ本社閉鎖について

グリーンライフ株式会社中村代表取締役より、現在の本社を4月末をもって閉鎖し、本社をまごのて右京事業所に戻すことが発表された。

これにともない、現在の本社にて開催されていた初任者研修については、継続が難しくなること、しかし実務者研修については、継続していきたいことが、あわせて発表された。

④ゆかりカフェ開催について

株式会社紫Y u k a r i 北川代表取締役より、来たる2月11日（火・祝）に、まごのて一条事業所の1階駐輪場および事務スペースにて、「ゆかりカフェ」を開催することが発表された（添付資料参照）。

「ゆかりカフェ」は、参加費は無料、ドリンクチケット100円でドリンク2杯、10時半～18時までの開催時間中は出入り自由。

一同これを盛大に祝した。

⑤外国人向け初任者研修について

株式会社アイケア西村代表取締役より、「京都民際日本語学校」についての紹介があった。外国人であれば受講でき、受講料は約82,000円。テキストには外国人にやさしくルビが振ってあり、アイケアの外国人職員も複数受講し、たいへん良かった、とのこと。ただ残念ながら、直近の講座はすでに現時点で開催中であり、その次の開催は今年9月頃になる見込み。

一同、有用な情報提供に謝意の拍手を送った。

5. 協議・承認

* 上記議題承認の是非

満場一致により、すべての議題について、決議済あるいは継続審議であることの確認がなされた。

6. 次回会議開催日時の決定

次回の第67回まごのてグループ統合開発室会議は、令和7年3月4日（火）18時～開催されることが決定した。